

住宅改修が必要な理由書（P1）

（記入例）

<基本情報>

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇	年齢	85歳	生年月日	明治大正〇〇年〇〇月〇〇日 昭和	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	杉並 太郎	要介護認定該当に〇	要	作成者は、次の資格を有する方ですか。 ①福祉住環境コーディネーター（2級以上） ②作業療法士 ③理学療法士			
	住所	杉並区〇〇						

作成者	現地確認日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	作成日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
	所属事業所	〇〇事業所		
	資格 (介護支援専門員でないとき)			
	住環境コーディネーターの場合	証書番号	〇〇 - 〇 - 〇〇〇〇〇	
	氏名	〇〇 〇〇	電話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

利用者の記載事項について誤り等はないですか。最新の介護保険被保険者証を確認してください。	評価欄	理由書の作成者が担当ケアマネジャー以外の場合は、担当ケアマネジャーが理由書及び添付書類を確認のうえ、署名または記名押印が必要です。 ※別紙Q&Aあり
--	-----	---

※理由書の作成者が担当ケアマネジャー以外の場合は、担当ケアマネジャーに下記確認欄を記入してもらってください。	
担当ケアマネジャー確認欄（いない場合は不要）	
支援事業所	〇〇〇〇〇
担当ケアマネジャー氏名 (署名または記名押印)	〇〇 〇〇 印
理由書確認日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

<総合的状況>

利用者の身体状況	右大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術後。 平成29年4月に廊下で転倒し入院。人工骨頭置換術後、5月15日に退院。 室内は杖でゆっくりではあるが歩行可能。ただし見守りが必要。屋外は車椅子を利用。	改修前と改修後想定される福祉用具の利用状況を確認する。		
介護状況	骨折前より長男夫婦と同居しており、排泄と入浴の介助については主に長男の妻が行っている。 日中は、本人しかいない場合もある。	福祉用具の利用状況と		
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	長男の妻の介助と見守りにより何とか生活できているが、生活動作や家事（調理）なども含め自分でできることはしていきたい。 できることは自分で行っていきたいとの思いを支援していく。 家屋が古く段差が多いために、住宅改修を行い、安全に生活できるようにしていく。 玄関はすでに手すりや踏み台があり、一人で上がりかまちの昇降ができるので、今回は排泄と入浴動作及び、調理動作について改善したい。できればお風呂には毎日入りたい。	住宅改修後の想定	改修前	改修後
	たとえば、移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況なのかを記述する。屋内及び屋外での移動方法(自立歩行・つたい歩き・介助歩行・歩行器利用など)を記述する。	●車いす	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	家族の状況、主な介護者を含む介護状況を記述する。	●特殊寝台	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか(特に何を希望しているか)また、その効果を記述する。	●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●福祉用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●入浴補助用具	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●その他		
		：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

住宅改修が必要な理由書 (P2) (記入例)

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください>

活動	① 改善をしようとしている生活動作	② ①具体的な困難な状況(・・・なので・・・で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(・・・することで・・・が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)
排泄	<input checked="" type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 便器が <input type="checkbox"/> 衣服 <input type="checkbox"/> 排泄時 <input type="checkbox"/> 後始 <input type="checkbox"/> その他() <p>該当項目にレ点チェックしていますか。</p>	居室からトイレの移動は、杖歩行だが杖を立てかける適切な場所がなく、また、歩行バランスも若干不安定で「見守り」が必要。 便座からの立ち上がりの際に、支持する所がないため、介助が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他() <p>該当項目にレ点チェックしていますか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取り付け (廊下の移動経路) 改修項目にレ点チェックしていますか。改修箇所の記入もれはないですか。 <input checked="" type="checkbox"/> 段差の解消 (廊下3cmかさ上げ) ④ 様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。 ・改修箇所は、場所だけではなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取付箇所まで記述する。
入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入(扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴室内部での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持(洗体・洗髪を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 湯の出入 <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(座りを含む) <input type="checkbox"/> その他() <p>① 現状の改善を必要とする動作についてレ点チェックをする。今回改修の対象でない項目にはレ点チェックする必要はない。</p>	居室から浴室への移動は「排泄」と同じ。 浴室内部では杖は使えず、つかまる場所がないため、移動に不安がある。 浴槽の60cmの縁高を一人でまたぐことができず、介助を必要としている。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 段差の解消 (廊下3cmかさ上げ) ③ ①②を記入し、現状の問題点を踏まえたうえで、改修目的の項目をチェックする。各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。 ・改善方法は「手すり設置」や「段差解消」という表現ではなくてもよい。「つかまれる所を」「つかまれない工夫」「立ち上がりの支えを」などの表現でも良い。 ・一つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。 ・具体的手段については当事者はもちろん、施工者や専門家と一緒に考えることが望ましい。
外出	<input type="checkbox"/> (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外 <input type="checkbox"/> までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()	杖でなんとか台所へは行けるが、調理は杖なしで長時間立位作業をしなければならず、現状では困難。 ② 生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。 ・改修案の検討の際はすべての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定したコメントでよい。 ・生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極めること。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても記入する。 ・①のレ点評価と②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 ・移動について各行為(排泄・入浴・外出)に共通する内容、たとえば「排泄」の欄のみに記入し、各行為の欄に重複して記入する必要はない。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 便器の取替え ()
その他の活動	<input checked="" type="checkbox"/> 廊下と台所との移動 <p>その他の活動に該当する場合、記入もれはないですか。</p>	杖でなんとか台所へは行けるが、調理は杖なしで長時間立位作業をしなければならず、現状では困難。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 便器の取替え ()